

須坂市教育委員会 1月定例会 会議録

1 日 時 2025年1月29日（水）午後2時00分～午後4時15分

2 場 所 須坂市役所 305会議室

3 出席した委員

教育長	勝山 幸則
教育長職務代理者	二ノ宮邦彦
教育委員	土屋 保男
教育委員	村石 忍
教育委員	湯本 理恵

4 説明のため出席した職員

教育次長	山岸 和美
学校教育課長	中村 健司
子ども課長	永井 隆広
人権同和教育課長	高橋 克彦
文化スポーツ課長	寺沢 隆宏
生涯学習推進課長	寺澤 勝志
学校給食センター所長	村石 孝子
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	宮崎 健
指導主事	北村 雅
指導主事	松木 智子
指導主事	西原 秀明

5 事務局出席職員

庶務係長	山本 雅代
庶務係	返町 美里

6 本日の会議に付した事項

(1) 学校等の状況報告について

(2) 議 題

- 議案第1号 須坂市放課後児童クラブ運営管理規則の一部を改正する規則について
- 議案第2号 須坂市フリースクール利用料助成事業補助金交付要綱について
- 議案第3号 須坂市公立保育園における防犯カメラの設置及び運用に関する要綱について
- 議案第4号 須坂市病児・病後児保育事業実施要綱の一部を改正する要綱について
- 議案第5号 須坂市子育て世帯訪問支援事業実施要綱について
- 議案第6号 須坂市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱の一部を改正する要綱について
- 議案第7号 須坂市子どもの居場所づくり支援事業交付金交付要綱の一部を改正する要綱について
- 議案第8号 須坂市児童手当の支給等に関する規則について

(3) 協 議

- ア 教育委員と社会教育委員の懇談会について
- イ 教職員組合からの要望事項に対する回答について

(4) 一般行政報告

- ア 教育長出席行事の報告について
- イ 行事共催等承認の報告について
- ウ 卒業式・入学式における対応について
- エ 12月定例市議会報告について
- オ その他

(5) その他

- ア 教育委員会行事予定について
 - イ 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
 - ウ 2025年須坂市二十歳を祝う会の開催報告について
 - エ 2024年度卒園式の出席予定（案）について
 - オ その他
-

教育長が開会を宣した。

(1) 学校等の状況報告について

教育長が説明を求め、主任指導主事が説明した。

- ・ 児童生徒数のについては小学校が1名増。
- ・ 事故報告について、今年度は現在まで68件の報告があった。凍結による転倒など事故があった。
- ・ 児童クラブで骨折の事故が2件発生した。
- ・ 児童生徒の欠席状況について、日数別で見ると90日以上欠席が小学校14名、中学校16名となる。90日以上欠席という指標は文科省から出されているが、学校の日数の約半分が90日となるため。
- ・ 須坂市では学校の日数の半分となると70日～80日が該当するため、その日数の欠席者についても注視していきたい。
- ・ 1月27日に登校支援の研修会も兼ねて、第2回登校支援全体会を開催した。
- ・ インフルエンザの学級・学年閉鎖について、2学期に比べると3学期は落ち着いてきている。
- ・ 11月実施のいじめに関する調査のまとめについて、「学校が楽しいか」について、はいと答えた人数がすべての学年で90%を超えた。
- ・ 「学校が楽しくない」と答えた子どもたちについて、小学校40名、中学校24名。楽しくないと答えた子どもたちについては教育相談等で聞き取りを行っている。
- ・ 「いじめられたことがあるか」という質問に対して、小学生は21.7%、中学生では3.5%の児童生徒が「ある」と答えた。
- ・ いじめの態様別については、冷やかしのからかいが一番多い。続いて仲間はずれ、軽い暴力など。小学校と中学校を比較して様態について大きな差はない。
- ・ 「いじめたことはあるか」という問いについて、「はい」と答えた児童生徒は小学生9%、中学生0.7%だった。
- ・ 「いじめをしたことがある」と答えた子について、男女比を見ると男子の割合が多い。

- ・態様別について、「いじめられたことがある」という回答の態様と「いじめたことがある」という回答を比較すると、被害者と加害者との間に認識差がある。いじめられた側はひどい暴力という意識でも、いじめた側は軽い暴力として認識していることが読み取れる。
- ・「いじめを見たり聞いたりしたことがあるか」という質問について、「はい」と答えた児童生徒について6月調査よりも数値が減っているが、1年間を通して学級のまとまりが強くなり、雰囲気が変わってきたことが良い方向に働いているのではないかと考えられる。
- ・「いじめをやめさせようと注意した、もしくは先生に相談したか」という質問について、「行動に移した」という回答が6月調査より増えた。
- ・いじめを相談する相手としては、小学校・中学校ともに、親、教員が多い。
- ・教員との関係についてはおおむね良好。
- ・「教員からいやなこと・悲しいことをされたり言われたりしたことがあるか」という質問に対し、「はい」と答えた児童生徒は、小学生25名、中学生11名。内容については教育相談での聞き取りを行っている。児童生徒との関係改善に調査を役立てたい。

教育長：

- ・不登校については昨年に比べて増加傾向なのか。

主任指導主事：

- ・小学生は減少の見込み。中学校に関しては微増。

教育長：

- ・須坂市のこれからについて、不登校の問題は広く深い。すぐに解決するというより子どもの居場所をたくさん作る必要があると感じる。須坂市の場合校内に支援室やフレンドリールームを作っているほか、2カ所のフリースクールもある。フレンドリールームでは非常に多くの工夫をされており、好転するケースも多くある。本人や家庭が深く悩むことに対し、工夫して寄り添った対応をしている。

委員：

- ・行事の欠席人数が多いように感じる。行事の欠席者は普段の生活も欠席しているのか。また、いじめのアンケートについて、不登校の子どもたちの声は入っているのか。

主任指導主事：

- ・行事があるとき、行事があるから出たい子と出たくない子に分かれる。別室や離れた場所で行事に参加する児童生徒もいる。行事があるから欠席が多いというわけではない。いじめのアンケートについては、アンケート時に学校を欠席していれば回答に入っていない。

委員：

- ・手厚く支援をしていることがわかる。一方、行事の出席状況について、学校に来られない子どもたちが行事にも出席できないという状況なのかと感じてしまう。行事について来賓として出席すると、非常に楽しそうに取り組んでいる子どもたちを見るが、そのような行事を楽しめない子どもたちもいる事実を受け止めたい。

教育長：

- ・行事が大きければ子どもにかかるプレッシャーも大きい。我々も行事と心の関係についてアンテナを高くする必要があると感じる。

指導主事：

- ・昔は行事で子どもを伸ばすという考えがあつたが、行事を頑張りすぎて、それを契機に不登校になってしまう児童生徒もいる。準備の忙しさで子どもたちの人間関係が変わることは感覚的に多いと感じた。今の子どもたちの中には、我々が思っている以上に学校行事を負担に感じる子もいる。多様な考えを受け入れることが必要。

委員：

- ・学校によっては、運動会や文化祭で順位を決めない学校もある。順位を決めないことについておもしろくないという保護者の言葉もあったが、「競わせない」とするのならば、その意図や意味を学校が保護者に説明する必要があると感じる。

指導主事：

- ・行事での欠席が多い一方で、その行事を楽しみに頑張って学校に来られる児童もいる。須坂小・須坂支援学校については運動会を合同にしているので、職員も連携して、全員が楽しめる運動会についてしっかり考えるようになってきている。一人一人が楽しめるということについて、結果の楽しみのほかに、過程の楽しみへ目を向けることも大切と感じる。

教育長：

- ・ほかに意見等あるか。

委員：

- ・そもそも小学校で複数クラスがあるとき、クラス替えはしているのか。

主任指導主事：

- ・している。どの学年でやるか決まっていないが、必ず替えている。

委員：

- ・クラス替えは多様な意見を得られると同時に、それが不登校の原因の一つと考えることがある。非常に難しい問題と思う。また、いじめのアンケートは記名式か。

主任指導主事：

- ・記名式である。

委員：

- ・学校が楽しくないと答えた子と話はしているのか。

主任指導主事：

- ・担任は把握して話はしているが、調査があったから話すというわけではない。普段の話のなかで原因を探りつつ、SOSを逃さないようにしている。普段の生活を含めて巡回教育相談員も様子を見るなどしている。

委員：

- ・承知した。手厚い支援をしていただいていると感じる。

教育長：

- ・クラス替えの良さとして、新しい環境を作るということはプラスだと感じる。また、どうしても回っていかないクラスについて、クラス替えをしてもらうことでスムーズに行くことがある。また、どうしてもペアにしたほうがいい子ども同士を一緒にすることや、ペアにできない子どもを離すということもできる。町の人数の偏り、得意な教科の偏りなど非常に複雑な関係性で配置されている。良し悪しもあるが、経験的にはあったほうが良いと感じる。

委員：

- ・一人一人の子どもたちが手厚く支援されていると感じた。不登校の児童生徒に関しては、教員が家庭訪問しているのか。

主任指導主事：

- ・家庭訪問はこまめにしている。ただ、会いに行っても会えないというケースも多い。辛抱強く家庭訪問することで、心を開いてくれる子どももいる。

委員：

- ・学校にいけない間、家に一人でいなければいけない児童生徒はいるのか。

主任指導主事：

- ・いる。一人でいる子もいれば、祖父母のもとにいる子もいる。現代は一人でいてもスマートフォンや動画サイトがあるため、退屈しない。友達と会えない不便さということがなくなってきた。仮想空間で仲間を見つけることも容易な時代の中で、生身の我々がどのように子どもたちと関わるかが問われているように思う。

教育長：

- ・これからこの問題について、教育委員会として何が必要か考えていかなければいけない。須坂市としてどのように行動するかの方針についてきちんと考えて対応していきたい。

(2) 議題

議案第1号 須坂市放課後児童クラブ運営管理規則の一部を改正する規則について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

特に質問・異議等なく承認された。

議案第2号 須坂市フリースクール利用料助成事業補助金交付要綱について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

フリースクールの助成事業について、メディアの取材があった段階では予算編成中だったため検討中と答えたが、そのメディアでは助成なしと報じられてしまった。予算案が認められれば利用助成の要綱を新設し4月より制度を運用する旨が説明された。

委員：

- ・須坂市以外のフリースクールでも県の認定がある場所ならば対象なのか。

学校教育課長：

- ・その通りです。

教育長：

- ・市町村によって差は出るが、大きな一歩であると感じる。現在の須坂市のフリースクールの利用状況はどうか。

主任指導主事：

- ・フレンドリールーム約20名の登録。市内のフリースクールは4名ほど利用している。

特にそれ以上の質問・意見なく承認された。

議案第3号 須坂市公立保育園における防犯カメラの設置及び運用に関する要綱について

教育長が説明を求め、子ども課長が説明した。

委員：

- ・今までは防犯カメラはついていなかったのか。

子ども課長：

- ・公立保育園にはついていなかった。

委員：

- ・何台設置するのか。

子ども課長：

- ・外部の防犯という意味で出入口2台の設置。目的が外部の防犯のため、内部には設置しない。

教育長：

- ・学校の状況はどうか。

学校教育課長：

- ・市内中学校3校に設置されている。

教育長：

- ・今後の施設設備についても進めていきたい。

これ以上特に質問・異議なく承認された。

議案第4号 須坂市病児・病後児保育事業実施要綱の一部を改正する要綱について

教育長が説明を求め、子ども課長が説明した。

特に質問・異議なく承認された。

議案第5号 須坂市子育て世帯訪問支援事業実施要綱について

教育長が説明を求め、子ども課長が説明した。

指導主事：

- ・対象者は市内に住所を有するものだが、外国籍児童も市内に住所があれば対象か。

子ども課長：

- ・その通りです。

これ以上特に質問・異議なく承認された。

議案第6号 須坂市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱の一部を改正する要綱について

教育長が説明を求め、子ども課長が説明した。

指導主事：

- ・要綱内の「市、教育委員会又は医療機関等から支援が必要と認められる児童」とはどういったことを指すのか。書類等が必要なのか。

子ども課長：

- ・現在までの経過や状況を鑑みて、関係機関から支援が必要と判断された児童がいれば、認められる児童とする。書類等の想定はしていない。

指導主事：

- ・趣旨自体は非常に良いと思うが、「認められた」という言葉が入ってしまうと基準が必要になってくると感じる。保護者間での不公平さも発生すると感じる。

子ども課長：

- ・法規審査委員会に諮る中で精査していく。

教育長：

- ・保育園に通っているときから経過を見ている児童で、通常学級にいても支援が必要な児童について想定している。臨機応変な判断をする。

これ以上特に質問・異議なく承認された。

議案第7号 須坂市子どもの居場所づくり支援事業交付金交付要綱の一部を
改正する要綱について

教育長が説明を求め、子ども課長が説明した。

特に質問・異議なく承認された。

議案第8号 須坂市児童手当の支給等に関する規則について

教育長が説明を求め、子ども課長が説明した。

特に質問・異議なく承認された。

(3) 協議

ア 教育委員と社会教育委員の懇談会について

教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

イ 教職員組合からの要望事項に対する回答について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。
要望事項に対する回答の内容について特に質問・異議等はなかった。

(4) 一般行政報告

ア 教育長出席行事の報告について
教育長が説明した。

イ 行事共催等承認の報告について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。
後援8件。新規は1件。

ウ 卒業式・入学式における対応について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

エ 12月定例会市議会報告について
教育長が説明を求め、教育次長が説明した。

オ その他
なし。

(5) その他

ア 教育委員会行事予定について
教育長が説明を求め、各課長が説明した。

イ 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

ウ 2025年須坂市二十歳を祝う会の開催報告について
教育長が説明を求め、生涯学習推進課長が説明した。

エ 2024年度卒園式の出席予定(案)について
教育長が説明を求め、子ども課長が説明した。

オ その他

文化スポーツ課長より、重要伝統的建造物群保存地区パンフレットが完成した旨説明があった。

教育長が閉会を宣した。